

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

平成16年 4月14日作成 平成21年 1月10日更新

1. 製造者情報

- 【会社名】株式会社 オーデックコーポレーション
 【住所】東京都大田区東馬込2-19-10第7下川ビル
 【担当部門】化成品課
 【電話番号】03-5718-7425 【FAX番号】03-5718-7426
 【緊急連絡先】03-5718-7425

2. 製品名 MSMLYC

3. 製品仕様 エアゾール

4. 物質の特定

【単一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】溶剤と液化石油ガス(L.P.G)の混合物

【成分、含有量及びその他情報】

化学名	トルエン	イソプロピルアルコール	メチルエチルケトン	LPG
含有量(wt%)	26.6	20~30	5~10	30~40 (ブタン20~30)
化学式	C ₆ H ₅ CH ₃	(CH ₃) ₂ CHOH	CH ₃ CO ₂ C ₂ H ₅	C ₃ H ₈ , C ₄ H ₁₀
官報公示整理番号	(3)-2	(2)-207	(2)-542	3, 4
CAS No.	108-88-3	67-63-0	78-93-3	74-98-6・106-97-8
国連分類	クラス3	クラス3	クラス3	クラス2.1
国連番号	1 9 5 0 (エアゾール)			

5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】 高圧ガス、可燃性ガス、引火性液体、急性毒性物質

【危険性】 引火性の強い液体、空気との爆発性混合ガスを形成しやすい。

【有害性】 蒸気を吸入したとき有害。皮膚からも吸収されて有害作用をおよぼすことがある。

6. 応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間以上洗眼した後、痛みが残る場合は、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指で開いてまぶた、眼球のすみずみまで水がよく行き渡るように洗う。

皮膚に触れた場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。

大量に吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布などでおい、保温して安静を保つ。直ちに医療処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 揮発性なので吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける。水でよく口の中を洗わせてもよい。意識がない被災者には口からなにも与えてはならない。

7. 火災時の措置

消火方法： 初期の火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。周辺火災の場合、周囲の設備などに散布して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。消火作業の際には必ず保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。燃焼したとき多量の黒煙を発生する。生成ガス中には、有害な一酸化炭素などが含有される。

8. 漏洩時の措置

漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。付近の着火源となる物を速やかに取り除く。消火用機材を準備する。作業の際には必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。

少量の場合、漏洩液は土砂などに吸収させて蓋付き空容器に回収する。火花を発生しない安全なシャベルなどを使用するのが望ましい。

多量の場合、土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後に回収する。

9. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 取扱場所及び周辺の火気、静電気、衝撃火花などの着火源の存在を厳禁する。静電気対策を行い、作業衣、安全靴は導電性の物を用いる。液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。蒸気の発生する場所には局所排気装置を設ける。接触、吸入の恐れがある時には各人保護具を着用する。

保管： 換気の良い冷暗所に保管し、着火源、高温物等を近づけない。酸化性物質他混触禁止物資と共存させない。

10. 暴露防止措置

	(トルエン)	(IPA)	(MEK)	(LPG)
【管理濃度】				設定されていない
【許容濃度】 日本産業衛生学会	50ppm (188mg/■)	400ppm (983mg/■)	200ppm (590mg/■)	
ACGIH TWA	50ppm	400ppm	200ppm	1000ppm
時間荷重平均(TWA)	(188mg/■)	(980mg/■)	(590mg/■)	(1800mg/m3)
【設備対策】	取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取扱場所の近くに緊急用の洗眼設備及びシャワーを設ける。屋内作業の場合は上記設備を設置することが望ましい。			
【保護具】	有機ガス用防毒マスク、濃度が高い場合は送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、ゴーグルまたは防災面、耐油性（不浸透性）の手袋、長靴、前掛け（静電気防止対策品）等の中から作業の状況に適したものを使用する。			

11. 物理／化学的性質（代表値）

	(トルエン)	(IPA)	(MEK)	(LPG)
外 観	無色透明の揮発性液体、芳香臭	無色透明液体	無色液体 アセトン臭	大気圧下・・・ ガス状・無色透明・無臭
沸 点	110.6℃	82.4℃	79.6℃	-42.1～ -0.5℃
融 点	-95.0℃	-89.5℃		-187.7～-138.4℃
蒸気圧	----	----	(6℃) 40mmHg	0.450～0.600MPa
比 重	0.87(20℃)	0.786(20℃)	0.804(20℃)	液密度507.6～555.0kg/■
蒸気比重	3.14(空気=1)	2.07	2.41	1.895～2.538kg/■ (1atm, 15.6℃)
溶解性	水に不溶、アルコール、エーテルによく溶ける。			水に微溶

12. 危険性情報（安定性・反応性）

	(トルエン)	(IPA)	(MEK)	(LPG)
引火点	5℃	11.7℃	-5.6℃	-104.4～-73.8℃
発火点	-----	460℃	-----	405～500℃
爆発限界	1.2～7.1%	2～12%	1.4～11.4%	1.6～10.0%
可燃性	なし	なし	なし	あり
発火性	なし	なし	なし	なし
酸化性	なし	なし	なし	なし
自己反応性・爆発性	蒸気は空気より重く低所に滞留し爆発性混合ガスをつくりやすい。 火気厳禁。容器は密栓し、漏洩しないように保管する。			
粉塵爆発性	なし	なし	なし	なし
安定性反応性	なし	なし	なし	安定

13. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

刺激性（皮膚、眼）	蒸気は麻酔作用がある。眼、のど、鼻の粘膜を刺激する。
感作性	知見なし
亜急性毒性	知見なし
がん原性	知見なし
催奇形性	知見なし

14. 環境影響情報

【分解性】	データなし
【魚毒性】	データなし
【その他】	データなし

15. 廃棄上の注意

使用後火中に投じないこと。使いきって廃棄すること。

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

16. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないよう、積み込み・荷崩れ防止を確実に行う。

容器表示： 第1石油類、240ml、火気厳禁

積載方法： 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またこの際、当該危険物に該当する消火設備を備えること。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。

混載禁止： 第一類および第六類の危険物および高圧ガスと混載しないこと。

17. 適用法令

高圧ガス保安法： 可燃性ガス

消防法： 第4類危険物 第1石油類（非水溶性液体）（200L）

労働安全衛生法： 施行令 別表第1 危険物（引火性の物）

有機則 第2種有機溶剤（トルエン、IPA、MEK）

施行令 第18条（名称等を表示すべき有害物）：トルエン、IPA、MEK

施行令 第18条の2（名称等を通知すべき有害物）：トルエン、IPA、MEK

P R T R 法： 第一種指定化学物質：トルエン（227号）

悪臭防止法： 施行令第一条（特定悪臭物質）：トルエン

18. その他

文献： ・危険物データブック： 消防庁警防研究会（昭和63年）

・産業中毒便覧

・12093の化学商品： 化学工業日報社発行

・化学品安全管理データブック： 化学工業日報社発行

・適用法規総覧： 化学工業日報社発行

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 TEL：03-5718-7425

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。